



望洋台小だより



学校 HP

R5. 11. 29 No.9

(通算 560 号)

<学校の教育目標>

- 自ら考え工夫する子
- 思いやりのある優しい子
- 進んで行動しやりぬく子
- 明るく健康な子
- 協力し働く子

「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」について

校長 及川年彦

教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して、令和5年8月28日に中央教育審議会
で緊急提言がなされました。その背景には、依然として、長時間勤務の教師が多い状況であることと、
子ども達に対してより良い教育を行うことができるようにすることがあげられます。

くわしくは、右のQRコードからご覧ください。

この度、その緊急提言の中の「授業時数」と「学校行事」について、令和6年度に向けて
はもちろん、今年度中に見直すよう通知がありました。

その具体は以下の通りです。



緊急提言

1. 授業時数の見直しについて

- (1)標準授業時数を大幅に上回って（年間1,086時間以上）いる学校は、早急に見直すこと
- (2)指導体制に見合った計画に見直すこと
- (3)災害や流行性疾患による学級閉鎖等の不測の事態に備えることのみを過剰に意識して標準授業時数を大幅に上回る必要はないこと

2. 学校行事の見直しについて

- (1)学校としての体裁を保つためのものや前例のみにとらわれて慣例的に行っている部分をやめ、教育上真に必要とされるものに精選すること
- (2)より充実した学校行事にするため行事間の関連や統合を図るなど、学校行事の精選・重点化を図ること

このことを受け、本校では標準授業時数を大幅に上回っている状況（5年生の標準授業時数1015時間に対して計画授業時数1076時間）ではありませんが、**今年度の3学期2月以降状況に応じて、余時数（標準授業時数を上回る時数）をカット（6時間授業の日を5時間授業にしたり、5時間授業の日を給食ありの4時間授業にしたりします）します。**その場合は、早めにお知らせします。また、**次年度は余時数（標準時数を上回る時数）を35時間から40時間程度で計画する予定です（5年生であれば年間1050時間程度）。**なお、**我々教員もただ単に働く時間が減るのではなく、限られた時間（標準授業時数）で子どもに必要な資質・能力を身に付けさせることが求められている**ことも確認しています。

学校行事の見直しについては、現在検討中です。特に学校行事の**精選・重点化**と準備の**簡素化・省力化**を目指しています。方向性等ははっきりしましたら、改めてお知らせします。

この2点については、保護者・地域の皆様のご理解とご協力が必要です。今後も丁寧な説明に心がけていきたいと思っております。ご不明な点やご心配なことがありましたら、学校までお問い合わせください。

終わりに、2学期の通知表についてお知らせします。十分時間をかけて評価するため、**2学期の成績については、各教科とも11月末日までの単元で評価します。**12月以降の成績については、3学期に評価しますのでご理解願います。

第9回小樽音読カップ

11月18日（土）、小樽市民会館にて「第9回小樽音読カップ」がありました。市内小中学校から75名の児童生徒が集まり、本校からは3名の児童が参加しました。

その中で、4年生の加賀田 璃究さんが中学年の部で銀賞、6年生の長谷川 優さんが高学年の部で銅賞、5年生の越智 栞さんが高学年の部で奨励賞となりました。3名とも、堂々と練習の成果を披露し、立派な姿を見せてくれました。今後も一層、音読に励んでほしいと思います。おめでとうございます。



花壇の後片付け&ペンキの塗り

10月28日（土）、天気が悪く、肌寒い中でしたが、PTAの皆さんで花壇の後始末とペンキ塗りを行いました。半年間、苗植え、雑草取り、水やりとお世話をしていただいた花壇を次年度のためにきれいに片付けてもらいました。また、40周年記念事業として、遊具のペンキ塗りの続きもしてもらいました。何人かの子どもたちにも手伝ってもらい、きれいに仕上げることができ、充実した時間となりました。お手伝いいただいた皆さん、ありがとうございました。



開校40周年記念実践発表会

11月13日（月）、開校40周年記念実践発表会がありました。5時間目に2年1組で特設授業を行い、本校の研究について協議を行いました。小中一貫教育の一環として望洋台中学校の多くの先生方や近隣の桜小学校の先生方に参加していただき、実りある発表会となりました。

協議の中では、「日常的に、子どもたちが『答えたい』『考えたい』と思わせるような授業を行っていて良かったです。」「子どもたちは育っている。だからこそ、子どもたちにもっと委ねる場面を設定してはどうか」等の感想や意見が出され、大変参考になりました。

今回の感想や意見をもとに、子どもたちに必要な資質・能力を身に付けさせることができるよう授業改善を図っていきたいと思います。

